

2011年度

科目名	書道史B			
担当教員	橋本 二三			
配当	日文2		コード	55017
開期	後期	講時	金曜日5限	単位数 2
授業テーマ	書の歴史を書法を通して考え、さまざまな書法の習得をめざす。			
目的と概要	日本の書の歴史をその書法を通して考える。とくに日本特有の仮名の書美に焦点をあて、その習得をめざす。			
成績評価法	平常点:30% 授業時のレポート等:70%			
テキスト	相川政行監修／『書法的美』／二玄社			
参考書	参考書、推薦図書等は授業時に紹介する。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	相当量は自宅学習になると思われるので自発的な課題実習へのアプローチが望まれる。 実技学習を加えるので毎時必ず書道用具を持参すること。			
講義計画				
第1回	漢字の受容について			
第2回	仮名表記について			
第3回	飛鳥・白鳳時代の書について			
第4回	奈良時代・中国との交流と影響			
第5回	平安時代初期・三筆について			
第6回	平安時代中期・三蹟について			
第7回	草仮名の書について			
第8回	女手の典型・高野切について			
第9回	院政時代の書について			
第10回	世尊寺家の書流について			
第11回	平安時代末期の書について			
第12回	鎌倉時代以降の流派書道			
第13回	江戸時代・寛永の三筆について			
第14回	明治以降の書道について			
第15回	現代の書道			